

## ニホンカナヘビ

*Takydromus tachydromoides*

カナヘビ科

## 名前の由来

日本のカナヘビ。カナは体色が褐色である事から。また、蛇に似るが可愛いことから愛蛇（かなへび）となったという説もある。ヘビは「ヘミ」から転じた説があり、「ヘミ」は「食む（ハム）」、「延虫（ハヘムシ）」、「這虫（ハヒムシ）」などから転じたという説がある。漢字名：日本金蛇



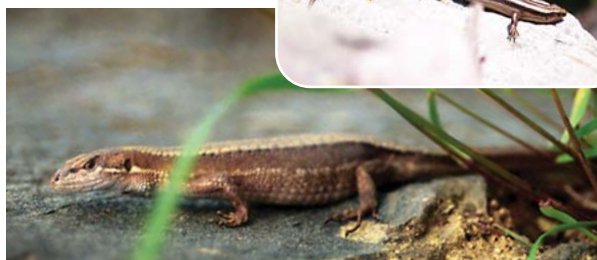
ニホンカナヘビ

## 形態的特徴

全長160～270mm、頭胴長（鼻先から尻尾の付け根までの長さ）60～70mm。胴や尾には角形の鱗が整列して並んでいる。背面は茶色で黒い斑点があるものもある。眼下から体側にかけて白い線がある。背中と腹の間の鱗の境界が明瞭で、筋張った感じがする。

類似種と見分け方：ニホントカゲ。

ニホントカゲは背中と腹の間の鱗の境界がはっきりせず、滑らかにみえる。また、カナヘビは尾率（頭胴長に対する尾の長さの比）が2倍ほどであるのに対して、トカゲは1.5倍程度と尾が短くみえる。



ニホンカナヘビは筋張った感じ。右上はニホントカゲ

## 生息環境・分布

落ち葉や草むらに生息。土中、落葉の下、石の下など湿った場所で冬眠する。

分布：国外分布はなし。国内分布は、日本全土。

北海道内では、全域に分布。

十勝地方では、低地から山地に分布。

## 食性・他生物との関わり

昆虫類やクモ類など。陸上甲殻類なども食べる。天敵はヘビ類、鳥類、イタチ類などの哺乳類など。

## 繁殖生態・寿命

繁殖は3～5月に始まり（地域差有り）、8月には終了する。年に複数回産卵し、2～6卵を産む。1年で成熟するが、北海道での成熟は2年目。寿命は推定7年。

## 興味深い話

- 冬眠中は尾を頭の上に巻いていることが多い。
- トカゲと同様に自切（尻尾切り）する。切れた尾が動いて天敵の注意をひきつけ、その隙に逃げる。尾は再生する。
- 爬虫類は変温動物であり、温度が低いと十分に活動する

できない。気温の低いときや、日陰で活動した後など、体温を上げるために日当たりの良い場所に出てきて日光浴をしている事がある。

## 配慮事項

樹林や草むらなどが必要。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期												
冬眠期												
繁殖期												

## 参考文献

「日本動物大百科 両生類・爬虫類・軟骨魚類」日高敏隆監修 平凡社 1996

関慎太郎 平凡社 2002

「日本辞典」のウェブページ

「決定版日本の両生爬虫類」内山りゅう・前田憲男・沼田研児・

<http://www.nihonjiten.com/data/46572.html>

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(ワシ・タカ) 鳥類  
草原・樹林